



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻田 俊幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,279	2.6	576	4.6	545	△3.0	332	△1.2
28年3月期第2四半期	6,121	7.3	551	3.9	562	1.2	336	△1.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 218百万円 (△38.1%) 28年3月期第2四半期 352百万円 (△3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	48.20	47.90
28年3月期第2四半期	48.78	48.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	14,037	6,971	49.2	1,000.50
28年3月期	14,527	6,890	47.1	990.88

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,906百万円 28年3月期 6,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.9	900	18.4	900	24.7	580	32.1	84.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,228,700株	28年3月期	7,228,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	325,269株	28年3月期	325,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	6,903,431株	28年3月期2Q	6,903,480株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は緩やかな改善が続きましたが、内外需要の低迷や円高の進行等により、企業売上・個人消費共に足踏み状態となりました。また、世界経済は米国の景気回復が持続したものの、英国のEU離脱問題が残る欧州、景気減速が続く中国・新興国などで、先行き不透明感が残る状況でありました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、環境関連機器、油圧ブレーカの販売に注力しました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,279百万円（前年同期比2.6%増）と増収を確保いたしました。一方、損益面では、国内事業での利益率改善要因もあり営業利益は576百万円（前年同期比4.6%増）と増益を確保いたしました。経常利益は円高による為替影響もあり545百万円（前年同期比3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は332百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内事業は、売上高全体で5,148百万円（前年同期比9.1%増）となりました。主力の圧砕機に関しては主に首都圏を中心とした耐震建替工事等により売上高は2,503百万円（前年同期比1.8%増）と堅調に推移しました。また環境機械に関してはバイオマス発電用燃料チップ向けの設備投資が堅調であり847百万円（前年同期比85.3%増）と大幅な増収となりました。油圧ブレーカに関しては公共事業予算の減少・レンタル業者の投資先延ばし等の影響もあり319百万円（前年同期比18.2%減）となりました。また、原材料売上高は540百万円（前年同期比9.8%減）、修理売上高は372百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

海外事業は、資源価格低迷などで北米を中心に需要が一段落すると共に円高の影響もあり、売上高1,131百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、14,037百万円（前連結会計年度末14,527百万円）となり489百万円減少しました。有形固定資産のその他が250百万円増加しましたが、原材料及び貯蔵品が206百万円、流動資産のその他が159百万円、受取手形及び売掛金が150百万円、商品及び製品が125百万円、それぞれ減少したことが主な要因です。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、7,066百万円（前連結会計年度末7,637百万円）となり571百万円減少しました。長期借入金（1年内返済予定含む）が248百万円、支払手形及び買掛金が214百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、6,971百万円（前連結会計年度末6,890百万円）となり81百万円増加しました。剰余金処分として配当の支払151百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益332百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において平成28年5月13日に公表いたしました通期の見通しを変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,201,428	2,122,598
受取手形及び売掛金	3,260,548	3,109,582
商品及び製品	2,306,226	2,180,320
原材料及び貯蔵品	1,842,298	1,635,987
その他	526,613	366,809
貸倒引当金	△6,162	△6,246
流動資産合計	10,130,952	9,409,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,498,733	1,438,411
機械装置及び運搬具(純額)	588,233	633,762
土地	1,635,340	1,632,199
その他(純額)	72,202	322,534
有形固定資産合計	3,794,509	4,026,907
無形固定資産		
その他	179,066	175,492
無形固定資産合計	179,066	175,492
投資その他の資産		
その他	443,785	447,172
貸倒引当金	△20,743	△20,659
投資その他の資産合計	423,042	426,513
固定資産合計	4,396,619	4,628,914
資産合計	14,527,571	14,037,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,493,525	2,279,445
短期借入金	3,208,100	3,100,000
1年内返済予定の長期借入金	359,031	286,392
未払法人税等	70,126	205,388
賞与引当金	117,178	124,762
役員賞与引当金	29,760	—
その他	309,965	208,772
流動負債合計	6,587,687	6,204,760
固定負債		
長期借入金	685,538	509,202
退職給付に係る負債	307,052	300,381
その他	56,920	51,733
固定負債合計	1,049,510	861,316
負債合計	7,637,198	7,066,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,473,370	1,473,370
資本剰余金	1,438,935	1,438,935
利益剰余金	3,911,956	4,092,812
自己株式	△91,370	△91,370
株主資本合計	6,732,890	6,913,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,409	31,648
繰延ヘッジ損益	△1,923	△5,209
為替換算調整勘定	84,070	△33,310
その他の包括利益累計額合計	107,556	△6,872
新株予約権	49,925	65,015
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,890,372	6,971,889
負債純資産合計	14,527,571	14,037,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,121,506	6,279,547
売上原価	4,347,791	4,461,188
売上総利益	1,773,714	1,818,359
販売費及び一般管理費	1,222,039	1,241,523
営業利益	551,674	576,835
営業外収益		
受取利息	2,726	2,770
受取配当金	4,433	4,582
為替差益	13,869	—
固定資産売却益	6,987	6,432
その他	7,044	8,010
営業外収益合計	35,061	21,795
営業外費用		
支払利息	13,203	13,504
債権売却損	4,209	4,580
為替差損	—	30,552
その他	6,712	4,385
営業外費用合計	24,125	53,023
経常利益	562,610	545,607
税金等調整前四半期純利益	562,610	545,607
法人税等	225,837	212,876
四半期純利益	336,772	332,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,772	332,731

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	336,772	332,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,467	6,238
繰延ヘッジ損益	△25,592	△3,286
為替換算調整勘定	47,779	△117,380
その他の包括利益合計	15,720	△114,429
四半期包括利益	352,492	218,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,492	218,302
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,717,433	1,404,072	6,121,506	—	6,121,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	129,975	348	130,323	△130,323	—
計	4,847,408	1,404,421	6,251,829	△130,323	6,121,506
セグメント利益	278,379	274,929	553,309	△1,634	551,674

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,634千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,148,152	1,131,395	6,279,547	—	6,279,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	145,680	141	145,821	△145,821	—
計	5,293,832	1,131,536	6,425,368	△145,821	6,279,547
セグメント利益	425,467	150,192	575,660	1,175	576,835

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額1,175千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。